

P2 経営支援レポート
元気印 ズームアップ

P4 知事を囲む商工会代表者会議

P5 青年部・女性部だより

P6 経営支援事例発表全国大会
最優秀賞受賞

P7 福島ふくらみプロジェクト

P8 掲示板

News Clip

あ き ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと **ふくしま商・工・人**

2026.3.1
Vol.412



P2に掲載

葡萄畑からワインの楽しさを届けたい!!

喜多方市・ekubo ふあーむ



P3に掲載

旬の魚と野菜を楽しむ海鮮料理店の創業計画
～職人の第二章、ここから始まる～

伊達市・旬魚菜えにし

アップ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。
みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。
是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。
(fukuren@do-fukushima.or.jp)



葡萄畑からワインの楽しさを届けたい!!



ekubo ふぁーむ
荒井 淳子氏

住 所 〒969-3504
喜多方市塩川町中屋沢字
竹屋丙31番地
連絡先 080-5223-7535



【事業所紹介】

生まれ育った喜多方市でワイン葡萄の栽培と、地元飲食店様と共にワイン会を開催しワインと人を繋ぐ事業をしています。

これまでは飲食店、酒販店に勤務しながらソムリエの資格を取得しました。ワインの原料である葡萄そのものを深く知らないことに違和感を感じていました。

葡萄栽培に関わりもっとワイン葡萄について知りたいと思い、長野県にあるワイン葡萄専門の農園で、3年間ワイン葡萄の栽培を学び、研修を積みました。葡萄は安定した収穫までに最低3年はかかると言われています。少しでも早い成園化を目指し、2022年から長野から会津まで毎月週1回のペースで通い、整備を進めてきました。2023年喜多方市の新規就農者としてワイン葡萄栽培をスタート。

2年目となった2024年からは葡萄の収穫量も少しずつ増え、契約先への出荷がスタート、ワインだけでなくクラフトビールの原料としてワイン葡萄を使用し、より気軽にワイン葡萄を味わえる商品を作りました。



2025年には初ヴィンテージとなる自社ワインの醸造(委託醸造)が始まりました。

【支援内容】

ワイン葡萄農家として事業を始めた時に商工会員となり、経理や税務を中心に支援してきました。

昨年、新規ワイン事業を立ち上げたいと相談があり、自分で栽培した葡萄を使用した初の自社ワイン販売に向けての支援が始まりました。



まずは酒販免許の取得、商品開発・販路開拓に活用できる補助金について、そしてこれから先の資金繰りなど、全てが初めてのことばかりで様々な不安があったと感じました。

まず、ワイン商品化に向けて、ボトルラベルのデザイン・ラベル作成、ECサイトの構築など専門家派遣事業を活用しながら少しずつ動き出しました。

委託醸造のため製造コストが高く、販売価格も割高になること、生産量も限られていることなどを踏まえて、どう販路開拓していけばいいのか、SWOT・4P分析を通して、これからの事業展開を明確にしていきました。

今後は飲食店を中心に営業活動を展開、その上で必要となる事業所及び商品紹介用のパンフレット作成や自社HP作成など持続化補助金等を活用しながら支援していきたいと考えています。

【今後の目標】

初めての自社ワインですが、今年の春リリース予定です。商品名は「十色(といる)」、種類はロザランジュ(ロゼワイン・オレンジワインの混醸)、一つの畑から厳選した様々な個性を持つ品種の葡萄を混醸し一つのワインに造り上げた「フィールドブレンド・ワイン」です。お料理にも合わせやすく、赤のコクと白の爽やかさの両方が味わえるワインです。今後も和食、特に山菜や旬の野菜を使ったお料理と共に楽しんで頂けるようなワインを目指しています。



将来的には地元のワインを知ってもらう場所として、「体験型ワインショップ」の店舗展開が目標です。畑では葡萄栽培の体験、ソムリエの経験を活かし、ワインを味わいながら学ぶという体験など出来るような環境を作りたいと考えています。





県北

保原町商工会

旬の魚と野菜を楽しむ海鮮料理店の創業計画
～職人の第二章、ここから始まる～



しゅんぎょさい
旬魚菜えにし

代表 後藤 英之氏

住所 〒960-0612
伊達市保原町宮下33-1
連絡先 024-573-6778
営業時間 昼 11:30～13:30
夜 17:00～21:00
定休日 月曜日



【事業所紹介】

旬の魚と野菜が楽しめる海鮮料理店「旬魚菜えにし」は、伊達市保原町に、長年空き店舗となっていた場所を改装し、令和5年11月にオープンしました。

店主の後藤さんは、寿司職人として30年間、魚の扱いと和食の技術を磨いてきました。その経験を活かし、魚の目利きから仕込み、調理、提供まで、すべての工程にこだわりを持ち、素材の良さを最大限に引き出した料理を提供しています。

店内は、テーブル席とカウンター席があり、少人数でも落ち着いて過ごすことができる空間となっています。



夫婦で営む店ならではの温かい接客も魅力です。初めてのお客様でも安心して過ごせるよう、アットホームな雰囲気づくりを大切にしています。

●昼のメニュー
昼は、「刺身定食」、「魚定食」、「海鮮丼」、「煮魚定食」など、鮮度の良い魚を使ったランチを提供しています。

特に「海鮮丼」がおすすめです。

●夜のメニュー

夜は、旬の魚や旬の野菜を使った和食を中心に、職人技が光る創作料理や、日本酒・焼酎を楽しめる居酒屋として営業しており、ゆっくりと食事とお酒を楽しみたい大人のお客様にご好評いただいています。

お好みに合わせた「刺身の盛り合わせ」が人気メニューとなっています。



【創業動機】

店主の後藤さんは、高校卒業後、平成3年4月に寿司の世界へ飛び込み、30年間にわたり寿司職人として腕を磨いてきました。

しかし、コロナ禍の影響により令和5年3月に長年勤めた寿司店を退職。家族との将来を考えたとき、「自分には料理しかない」という強い思いに至り、これまで培った技術と経験を活かして新規創業することを決意しました。

妻も専従者として支えてくれることになり、家族で力を合わせて地域に愛される店づくりを目指すこととなりました。

【支援内容】

後藤さんにとって今回の創業は、初めての独立であり、個人事業主としての第一歩でした。経営に関する知識や開業準備の進め方については全くの初心者で、何から手をつければよいのか分からない状態でした。

そんな中、地元の商工会に相談したことが大きな転機となりました。

商工会に何度も足を運び、事業計画の立て方から経営に必要な知識まで一つひとつ理解を深めていきました。

店舗オープンに向けては、商工会の支援を受け、「空き店舗対策支援事業補助金（伊達市）」、「店舗改修補助金（伊達市）」、「創業補助金（県産業振興センター）」といった各種補助金を活用しました。

令和5年11月に無事オープンを迎えた現在も、商工会から継続して記帳指導や経営のアドバイスを受けており、安心して店舗運営に取り組むことができている。

【今後の目標】



今回の創業の経験を活かしつつ、地域に根ざした「選ばれる店」を目指していきます。30年の職人技をさらに磨くとともに、商工会の支援を受けながら経営知識を深め、安定した店舗運営をしていきたいです。

中小企業・小規模事業者の支援体制強化等について要望 知事を囲む商工会代表者会議

令和七年度知事を囲む商工会代表者会議が、十月十日、福島市 ウエディング エルティで開催された。

県内商工会長等約九十名が参加し、渡邊県連会長は挨拶で、「事業者は、少子高齢化の中での急速な人口減少による人手不足や、大都市圏への労働力の流出に加え、頻発する自然災害や、諸物価高騰、円安など、様々な外的要因が重なり、厳しい経営環境にある。商工会は、変化する経営環境を機敏に捉え、事業者に寄り添った伴走型経営支援、力強いふくしまの商工業振興に、組織一丸となつて各般の事業を積極的に推進する。」と述べた。

続いて、今年の福島県商工会連合会長感謝状・表彰が執り行われ、菅野昭則 前理事の百十九名が表彰された。



県連会長 感謝状
代表授与 前理事 菅野昭則 様

引き続き、商工会代表者による意見表明が行われ、安西 秀二副会長、松崎淳副会長、渋谷浩一総務企画委員長がそれぞれ力強く意見要望し、渡邊 県連会長が内堀知事に要望書を手渡した。

このあと、「県内企業の持続可能な成長へ向けた取組」と題し、内堀知事の講話が行われた。



要望書手交 渡邊県連会長から内堀知事へ

午後には、商工会長研修会として、石川町商工会の青柳孝経営指導員による経営支援事例発表を実施した。

このあと、講演会として川内村 遠藤雄幸村長より、「今を乗り越え、その先へ〜Go Beyond!」と題し、東日本大震災・原発事故からの復旧・

復興への取り組みから、新しい村づくりへの挑戦について、ご講演をいただいた。



経営支援事例発表
石川町商工会 青柳孝 経営指導員



講演「今を乗り越え、その先へ〜Go Beyond!」
講師 川内村村長 遠藤雄幸 様

知事への要望書

一、中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化

① 中小企業・小規模事業者に対する、原油・原材料価格高騰対策への取組等に対する補助金の拡充強化

- ② 最低賃金の大幅引き上げに伴う中小企業・小規模事業者への支援の強化
- ③ 中小企業・小規模事業者の人材確保・育成・定着に関する支援の強化
- ④ 中小企業・小規模事業者が行う販売促進及び新たな販路開拓等、生産性向上のためのDXを活用したビジネスの取り組みへの更なる支援強化
- ⑤ 円滑な事業承継や創業・起業に対する支援の拡充強化

二、原子力災害及び頻発・激甚化する自然災害の克服と県内産業の復興・再生に向けた支援強化

- ① 原子力災害の完全収束に向けた取組と、ALPS処理水放出に係る風評対策の徹底
- ② 避難指示解除区域等における帰還・移住のさらなる促進
- ③ 中小企業・小規模事業者への、迅速できめ細かな復旧・復興支援施策の継続と拡充強化
- ④ 事業再開等支援事業補助金の継続
- ⑤ 災害時に事業が継続できるよう、耐震や電源確保の設備投資等を行う中小企業・小規模事業者の取組に対する補助金等の創設

三、商工会による経営支援体制の充実強化

- ① 商工会職員の削減計画停止と財政支援の強化
- ② 事務局長設置費の増額と設置要件緩和
- ③ 商工会のDX強化にかかる費用補助の創設と越境EC支援体制の強化
- ④ 商工会館の防災強化及び修繕費用並びに老朽化に伴う取り壊し費用に対する補助の創設
- ⑤ 国への復興経営指導員等の継続配置の後押しと避難地域商工会への支援継続

令和七年度 秋の叙勲

晴れの榮譽に
輝かれたことを
お祝い申し上げます。



〔旭日双光章 齋藤 泉 様〕

H 24 大玉村商工会長
H 27 県連理事

青年部 だより 第25回商工会青年部全国大会(岩手大会)

令和7年11月26日(水)から27日(木)にかけて、岩手県滝沢市の「ツガワ未来館アピオ」において、第25回商工会青年部全国大会が開催されました。本大会は、平成27年の福島大会以来、10年ぶりとなる東北・北海道ブロックでの開催となりました。

大会では、主張発表大会、大会顕彰、商人ネットワーク事業などが執り行われ、大会顕彰では、人づくり部門において本宮市商工会青年部の吉田光徳さん、感謝状において好間町商工会青年部の阿部博臣さんが受賞されました。また、部員増強運動では、保原町商工会青年部が若手部員新規加入者数第2位として表彰されました。

主張発表大会では、各ブロックの予選を勝ち抜いた7名の代表者が登壇し、最優秀賞には、関東ブロック代表・埼玉県久喜市商工会青年部の竹下学さんが選ばれました。

本大会を通じて、商工会青年部間の連携と交流がより一層深まる、有意義な機会となりました。

受賞	発表者	地区(商工会)	テーマ
最優秀賞	竹下 学	埼玉県 (久喜市商工会)	見えない存在から、照らす存在へ
優秀賞	山崎勇貴	神奈川県 (藤野商工会)	「里に灯る、交わりのあかり」
優良賞	田隅博也	兵庫県 (市川町商工会)	私のターニングポイント ～青年部での挑戦と成長～
優良賞	松岡宏尚	北海道 (当別商工会)	託された想い ～未曾有のピンチをチャンスに～
優良賞	川西一輝	香川県 (東かがわ市商工会)	持続可能な地域を目指して ～小さな一歩を踏み出す勇気～
優良賞	戸坂隼斗	石川県 (富来商工会)	石川県民への道 ～青年部活動が繋いだ、この町との縁～
優良賞	栗川恭平	熊本県 (山鹿市商工会)	400年の歴史を紡ぎ未来を作る ～来民門前市の復活～

※優良賞は発表順



女性部 だより

令和7年度商工会青年部女性部 トップセミナーⅡ開催



令和7年度商工会青年部女性部トップセミナーⅡが令和7年11月5日(水)に郡山市「ホテル華の湯」において開催されました。福島県内から140名を超える方が参加し、商工会青年部女性部同士の交流にもつながり、双方にとって有意義な時間となりました。

第1部主張発表報告会では、主張発表福島県大会で最優秀賞に輝いた、松川町商工会青年部の櫻内啓太さん、船引町商工会女性部の小沼雅美さんそれぞれに発表を披露していただきました。ご自身の活動への熱意や地域を想う気持ちが伝わる堂々としたすばらしい発表でした。

第2部では「福の実所(みどころ)」と題して県内に募集をかけて事業所PRを実施しました。6事業所の方々にご協力いただき、各自用意したパワーポイントや動画などの資料を使用して自社の取組についてPRしていただきました。会場には展示ブースも設けられ、物販も行われました。会津地区女性部の皆様からも各自社の商品を持ち寄り物販を盛り上げていただき、さらに人と人とのつながりを感じることで残るトップセミナーⅡとなりました。



福島県勢初の快挙! 全国最優秀賞を受賞

石川町商工会 青柳孝経営指導員が「日本一」に! 内堀知事へ喜びの報告

松竹工芸社製の会津桐を使った壁紙の前で記念撮影。知事からは「福島県としてまさに快挙」と絶賛の言葉をいただきました。
 写真左から 石川町商工会 増子 信雄 事務局長、株式会社松竹工芸社 小針 悦也 代表取締役、石川町商工会 青柳 孝 経営指導員、
 内堀 雅雄 福島県知事、福島県商工会等職員協議会 渡部 隆幸 会長(下郷町商工会 経営指導員)



全国連森義久会長より表彰状の授与

令和7年度経営支援事例発表全国大会(12月4日開催)において、東北ブロック代表として出場した石川町商工会の青柳孝経営指導員が、見事全国最優秀賞に輝きました。全国の商工会職員が支援実績を競う本大会で、福島県代表が頂点を獲得するのは史上初の快挙です。受賞報告を受けた内堀知事からは、7年間にわたる取り組みが全国で認められたことに対し、「心から敬意を表します」との力強いお祝いの言葉をいただきました。

7年間の「二人三脚」支援が結実 ～世界へ翔く色彩ある壁紙の開発～

支援対象 株式会社松竹工芸社 西郷村
 (伝統的な自然資材を活かした壁紙を製造)

支援テーマ 「世界へ翔く色彩ある壁紙の開発
 ～後継者の成長が会社の危機を乗り越える～」

青柳指導員は、後継者の成長を軸に支援チームを編成し、以下の課題解決に取り組みました。

- ① 経営基盤の確立** 課題であった商品別の製造原価の不明確さを解消。
 中小企業大学校で学んだ「理論製造原価」分析を提案し、原価把握を確立しました。
- ② 生産性の向上** 「ものづくり補助金」を活用して最新装置(NCルーター)を導入し、ボトルネック工程を改善。
 これにより生産性を8倍に向上させました。
- ③ ブランド確立と技術開発** コロナ禍の危機を好機に変え、事業再構築補助金を活用。技術的に難しかった桐材の染色工法を確立し、世界基準の不燃認定を取得した「色彩ある壁紙」の開発に成功しました。
- ④ 販路拡大** メーカー依存から脱却するため、国際見本市IFFTへの出展を支援。

福島の素材が世界で輝く! 成果と採用実績

成果と採用実績

売上高: 支援前の水準と比較し40%増
 利益: 支援前の利益より4倍となる企業体質へ変貌
 ふくしま産業賞 特別賞 受賞
 一流ホテル、有名ブランドのブティックなどで採用



熱弁を振るう青柳指導員



独自の光沢と深みが評価され、
 県議会議場や世界的な高級ホテルでも採用

商工会の決意

松竹工芸社の小針代表は「商工会がなければ今の会社はない」と、7年間にわたる支援への深い感謝を述べられています。内堀知事からも青柳指導員へ、「激動の時代において経営指導は極めて重要。これからも企業の強みを引き出し、地域を支えてほしい」との激励をいただきました。商工会、および福島県商工会連合会は、今回の快挙を糧に、今後も地域事業者の皆様にご寄り添った伴走型支援に全力で取り組んでまいります。



内堀県知事への受賞報告

福島 ふくらみ PROJECT

について

「福島ふくらみプロジェクト」は、県内事業者の魅力や想いに寄り添い、その価値を“ふくらませていく”伴走型の取り組みです。今年度は、都心部で福島の魅力を紹介するPASS THE BATON MARKETでの出展、県産品を扱う公式オンラインストア「ふくしま市場」での特集に加え、事業者の現場で課題や想いに触れ、参加者とともに未来の可能性を探るふくらみツアー、外部の実践者と学ぶセミナーを実施しました。今期の取り組みを通じて生まれた成果や広がりをお伝えします。

#まずは、“福島をそのまま”届けるところから

今年度は、福島のローカルフードを“そのまま”届けるため、リアルとオンラインの両面で発信を行いました。まず、2025年12月13日(土)～14日(日)に東京都品川で開催されたPASS THE BATON MARKETでは「ふくしま そのまま まーけっと」として出展し、地元で愛される10事業者の商品をあえて手を加えず紹介するテストマーケティングを実施しました。2日間の出展を通して福島県の商品や魅力を来場者へ伝えることができたと同時に出展ブース内売上1位(飲食部門)という結果となり、都市部での確かな需要を確認できました。さらに、県産品を幅広く扱うオンラインストア「ふくしま市場」では特集ページを開設し、出展した10事業者の商品を改めて紹介しています。本特集は2026年3月末まで販売中で、以下のページからご覧いただけます。

<https://fukushima-ichiba.com/pages/sonomama-market>



#現場に触れ、人に会い、 未来をふくらませる旅

2026年1月9日(金)～11日(日)の3日間、事業者の現場に直接触れ、想いや課題を共有しながら事業者の未来を探る取り組みとして「ふくらみツアー」を開催しました。ツアーでは、とみおかワイナリー、大帽食品、肉の秋元本店、よしだや、やまさ味噌こうじ店の5事業者を訪問し、それぞれが抱える日々の悩みや課題を伺いました。今回は、プランナー、デザイナー、編集者など専門家が参加し、専門的な視点から課題を読み解く時間を設け、現場で感じた可能性やアイデアをその場で共有しました。対話を通じて事業者にとっても参加者にとっても、新しい視点が次々と生まれる旅となりました。

ふくらみツアーの詳細を公式noteにまとめています。以下のページからご覧いただけます。

<https://note.com/fukuramipij>



福島で“誰かの役にたっている”旅



#“地域”をテーマにみんなで学ぶ

地域で活躍する事業者や伴走者から学び、事業づくりの視点を広げる場として、「ふくらみセミナー」を2回開催しました。vol.1では、山形のデザイナー・吉野敏充氏、秋田のデザイナー・澁谷和之氏を迎え、地域事業者が直面する課題に対し、デザインがどのように機能するのかを事例とともに紹介いただきました。「東北デ、」の取り組みを通じ、地域に根ざした活動の考え方を共有しました。vol.2では、タケフナイフビレッジ協同組合の戸谷祐次氏より、越前打刃物の産地再生に向けた組織運営や技術承継の実践例を紹介いただきました。2回のセミナーには総勢66名が参加し、各事業者が自社の課題整理や今後の方針検討を進めるうえでの参考情報を得る機会となりました。



協会けんぽ 福島支部の
加入者・事業主のみなさまへ

令和8年度 保険料率のお知らせ

令和8年2月分
(3月納付分)まで

健康保険料

給与・賞与の
9.62%

+

介護保険料

給与・賞与の
1.59%

※介護保険料は40歳～64歳の方が対象

令和8年3月分
(4月納付分)から

健康保険料

給与・賞与の
9.50%

+

介護保険料

給与・賞与の
1.62%

令和8年4月分
(5月納付分)から

健康保険料

給与・賞与の
9.50%

+

介護保険料

給与・賞与の
1.62%

+

子ども・子育て支援金

給与・賞与の
0.23%

令和8年4月分(5月納付分)から、子ども・子育て支援金の徴収が始まります。
少子化・人口減少が危機的な状況にある中、子どもや子育て世帯を社会全体で応援する仕組みで、協会けんぽは子ども・子育て支援金の徴収を代行する立場です。
詳しくは、子ども家庭庁ホームページをご覧ください。

お問い合わせ



全国健康保険協会福島支部

TEL024-523-3915(代表)

INPIT 福島県知財総合支援窓口

知財のことならご相談ください
(相談・支援は無料です)

特許

TEL 024-963-0242

商標

意匠

一般社団法人福島県発明協会

著作権



News Clipは循環型社会の実現を目指して、環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています。